

一般質問発言通告要旨

(令和5年三島市議会2月定例会)

発言 順位	発言者	発言要旨	備考
1	甲斐 幸博	1 子どもの育成について 2 市道における道路照明灯のLED化について 3 公園の再生とレジャー施設について	3/8 (水)
2	岡田 美喜子	1 駅前再開発に伴う「駅まち空間」の取り組みについて 2 生活困窮者が抱える課題とその支援策について	
3	古長谷 稔	1 G I G Aスクール構想の現状と今後、教員の働き方改革への活用について 2 三島駅南口東街区再開発について	
4	河野 月江	1 三島駅南口東街区再開発事業の進捗等について 2 市内公立中学校における生理用品の女子トイレ個室への設置を小学校でも 3 当市におけるグリーンケアの取り組みの充実について	3/9 (木)
5	大石 一太郎	1 未来を拓く都市経営、財源確保に向けた政策展開について 2 三島駅南口の都市再開発事業と南北自由通路の整備について 3 人を幸福にする福祉社会の実現に向け、政策の充実と具体的対応について	
6	中村 仁	1 保育園・幼稚園・小中学校に通う子ども達の安全・安心について 2 三島市役所を支える職員の現状と課題について 3 これから生まれてくる子ども達のために考える、将来の三島市に活かせる施策	
7	村田 耕一	1 認知症等高齢者のQOL向上対策について 2 子育て支援について	3/10 (金)
8	野村 諒子	1 健やかな子どもの成長を育む環境の充実 2 文化芸術活動を推進するための人材育成の充実	
9	佐藤 寛文	1 ゴミ減量と処理計画について 2 財政運営について 3 「誰も置き去りにしない」まちの実現に向けて	

問い合わせ先：三島市議会事務局（電話番号 055-983-2600）

一般質問発言通告書

発言順位 1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 2番 甲斐 幸博

質問事項1	子どもの育成について
具体的内容	変化の激しい社会において、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は、複雑化、多様化しています。その課題解決のためには、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。
	地域の子どもたちが、のびのびと地域の中で成長し、また地域のことを自分のこととして捉え、考えていけるような地域社会との強い結びつきこそが、次世代を実り豊かな社会にしていくために、今私たちがすべき大きな使命だと考えています。
	こども家庭庁が4月に発足し、国は本格的に子ども関連政策を推進していこうとしています。今後国の考えを踏まえ、三島市として子どもの育成にどのように取り組んでいくのか伺います。
	1 国の考えを踏まえ、三島市として子どもの育成にどのように取り組んでいくのか。
	2 無園児に対する対策は行っているか。
	3 こども家庭庁の対応として、窓口を一本化し子どもの育成に取り組んでみてはどうか。
質問事項2	市道における道路照明灯のLED化について
具体的内容	政府は、パリ協定で定めた目標を踏まえ、2020年10月に、2050年度までの温室効果ガス排出量実質ゼロ、いわゆる「カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月には、2030年度の削減目標について、2013年度から46%削減することを表明しました。
	三島市においては、令和4年3月に「地球にやさしい率先行動計画【第5版】」を策定し、市の事務事業から排出される温室効果ガスを削減するとともに、市が率先して地球温暖化対策の取り組みを実施することで、市民や事業者の主体的な取り組みを促進するとしています。
	道路照明灯における地球温暖化対策の取り組みや、電気代や維持管理費削減のための対策について質問いたします。
	1 市内の道路照明灯は何基あるのか。また、LED化はどの程度進んでいるか。
	2 今後の方針や対策など、どのようにLED化を進めていくのか。
	3 道路照明灯がすべてLED化された場合、道路照明灯の電気代は年間いくらかかるのか。またLED化が完了した場合、電気代はどの程度削減されるのか。
質問事項3	公園の再生とレジャー施設について
具体的内容	子育て中の若いお母さんたちからも、子どもたちが屋外や屋内で安全に安心して遊べる公園や施設を要望する声が一層高まっています。子どもたちが健やかに健康に育つよう、体位、体力、心の健全育成にも繋がる遊びの広場、公園の整備に全力で取り組むべきと考えます。
	公園が抱える問題を解決し、かつ、新たな役割を担っていくための方法として、住民参加による公園の再生があります。今後の少子高齢化社会に向けて、お年寄りでも小さな子どもでも、様々なハンディキャップを持っている人であっても、楽しく使え、しあわせ感を体験できるような公園が必要です。
	1 三島市内の公園の問題や課題についてどう考えているか。
	2 住民が公園の再生・リノベーションに参画する事についてどう考えるか。
	3 活用されていない市の未利用地を有効活用し、レジャー施設を含めて検討できないか。

一般質問発言通告書

発言順位	2番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年 2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 15 番 岡田 美喜子

質問事項 1	駅前再開発に伴う「駅まち空間」の取り組みについて
具体的内容	
<p>国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の危機を契機に、働くにも住むにも快適な環境、ゆとりのあるスペースへのニーズが高まり、安全性、快適性、利便性を備えた「駅まち空間」の一体的な整備が期待されるとし、有識者による検討会を設置後、「駅まちデザインの手引き」を公表しています。</p>	
<p>三島市においては、三島駅南口の東西街区の整備に伴い、まちの玄関口としての駅や駅前広場、その周辺市街地も含めて、一体的に必要な機能を配置することが必要と考えます。</p>	
<p>三島市の「駅まち空間」の取り組みについて伺います。</p>	
1 三島駅南口駅前広場の整備のこれまでの経過、状況について	
2 南口駅前広場公共交通利用環境検討調査の進捗状況とその結果について	
3 三島駅南口駅前広場の課題について	
4 三島駅南口駅前広場に求められる役割と将来のあるべき姿について	
5 駅前再開発に伴う駅とまちをつなぐ三島駅南口駅前広場の整備の検討状況と今後の取り組みについて	
質問事項 2	生活困窮者が抱える課題とその支援策について
具体的内容	
<p>長引くコロナ禍に加え、物価高騰等の影響により生活に困窮している人が増え、支援の充実が求められています。</p>	
<p>厚生労働省によると、令和2年度の生活困窮者自立支援制度の新規相談件数は、令和元年度の248,398件に対し約3.2倍の786,163件であり、令和3年度は令和2年度に比べ減ったものの、約2.1倍となっています。自立支援の現場からは、一時的な生活支援への対応に追われた結果、従来の伴走型支援を行うことができないとの課題が上がっています。</p>	
<p>三島市の生活困窮者に対する支援について伺います。</p>	
1 相談状況の推移とプラン作成の状況、相談体制について	
2 支援事業の利用状況について	
3 子どもの貧困対策やひとり親家庭への支援の強化について	
4 住居を失った人、失うおそれのある人に対する支援について	
5 フードバンク利用の周知と支援団体に対する支援について	

一般質問発言通告書

発言順位

3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 2月 14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 20番 古長谷 稔

質問事項1	GIGAスクール構想の現状と今後、教員の働き方改革への活用について
具体的内容	国を挙げて整備を進め、三島市でも令和2年度に導入を完了し、令和3年度から令和4年度にかけて、全小中学校において本格的活用を進めてきた一人一台のタブレット端末であるが、実質的な活用2年目を終えるに当たり、現時点までの教育現場での活用における取り組みの実績や成果、浮き彫りになった課題や、現場で見えてきたであろう今後の目指す方向について伺う。さらに、教員間や保護者との情報共有化や授業のスリム化などによる、教員の働き方改革への活用の現状と課題について伺う。
1	どのような実績や成果、浮き彫りになった課題があるか。
2	学びの個別最適化に向けた活用について
(1)	タブレット端末と個別最適化との関係について
(2)	今後目指すべき方向性について
3	教員間での活用事例の共有について
(1)	GIGAスクールポータルサイトについて
(2)	教科リーダーについて
(3)	静岡県総合研究センター等を介した共有について
4	LTE機能の活用について
(1)	修学旅行、校外学習、校舎外の授業などでの活用について
(2)	LTE機能を導入している市町の比率について
(3)	LTE機能導入による通信環境のメリットについて
5	情報モラル教育の方針について
(1)	トラブルへの対応の考え方について
(2)	情報モラル(リテラシー)教育の進め方について
6	外部アドバイザーやICT支援員の活用実態について
7	教員の働き方改革への活用について
(1)	教員間や保護者との情報共有化の現状について
(2)	授業のスリム化に伴う時間短縮について
(3)	働き方改革につなげられるか今後の展望について
8	今後、三島市が目指す方向性について
質問事項2	三島駅南口東街区再開発について
具体的内容	地方自治法237条2項には、普通地方公共団体の財産は、条例又は議会の議決による場合でなければ、適正な対価なくして譲渡し、貸し付けてはならない旨が規定されている。この度の東街区再開発においては、三島市が所有する土地を権利変換して組合に譲渡する過程において、議会の議決を必要としない旨の説明がこれまでなされている。その法的根拠を伺う。また、三島市医師会が、再開発ビルへの順天堂大学病院の進出に対して、プロジェクトチームを立ち上げ、検証を進め、対案提出を検討していると聞く。市民合意形成プロセスに課題が見える。この点についての見解を伺う。

一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1	三島駅南口東街区再開発事業の進捗等について
具体的内容	今議会上程の補正予算案に、繰越明許費の補正として、市街地再開発事業費補助金＝約2億7千6百万円が組合において事業全体のスケジュールに変更が生じたとの理由で計上されている。市ホームページでの説明資料の公開等によって曲りなりにも進捗状況の市民説明が行われた昨年6月から、すでに8ヶ月が経過している。これまで行った一般質問や答弁も踏まえ、現時点での事業の進捗状況や現状、懸念事項への対応等について、市民に対し丁寧に明らかにすることを求め、以下伺う。
	1 昨年内に権利変換計画縦覧にこぎつけられなかった理由及び事業全体のスケジュールに変更が生じた理由と、組合が新たに引くスケジュールについて
	2 権利変換計画作成における現在の状況について
	3 この間市が組合から市有地の権利変換資産額が示されていたら、その額について
	4 令和4年度に実施を予定していた事業効果調査の状況と今後の見通しについて
質問事項2	市内公立中学校における生理用品の女子トイレ個室への設置を小学校でも
具体的内容	生理の貧困問題が注目される中、当市では昨年度、市民団体や保護者の要望を背景にした一般質問なども通じて、昨年秋より市内公立中学校において、女子トイレ個室への生理用品の設置が始まった。「これまで言い出しにくかった生理の問題で、学校生活を過ごす上で安心の環境づくりが進んだ。」との声が、保護者はもとより当事者である生徒からも寄せられている。一方、「小学校（高学年）でも設置できないのか。」との声も聞かれる。中学校に続き、小学校でも設置していくことを求め、以下伺う。
	1 中学校での実施状況、利用状況はどうか。
	2 設置による効果と課題は何か。
	3 中学校のみでの実施となっている理由について
	4 安心の環境づくりには、小学校（高学年）でも設置が必要ではないか。
質問事項3	当市におけるグリーフケアの取り組みの充実について
具体的内容	身近な人との死別の経験による喪失と立ち直りの思いとの間で揺れ動き不安定な状態となり、身体上にも経験する不愉快な反応・違和感をグリーフと言い、このような状態にある人にさりげなく寄り添い、援助することをグリーフケアと言う。厚生労働省もこの間、グリーフケアに関する自治体説明会の開催や手引書の提示などを行ってきている中、令和3年5月31日には自治体あてに、「流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援等について」を発出している。当市におけるグリーフケアの取り組みの充実を求め、今回は流産や死産を経験した女性と、自死遺族へのグリーフケアの取り組みに絞って、以下伺う。
	1 出産における流産及び死産の件数について
	2 グリーフケアに係る取り組みの現状について
	3 ピアサポーター等の養成や支援団体との連携について
	4 自死遺族へのグリーフケアの取り組みの現状について
	5 自殺という用語の使用について

一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 8番 大石 一太郎

質問事項 1	未来を拓く都市経営、財源確保に向けた政策展開について
具体的内容	財源なくして経営なし、未来志向の政策展開が必要な時、政策の選択と集中が大切。
1 企業誘致に向けた土地利用政策への果敢な取組について	熱海の土石流災害に伴い、盛土規制法が制定、大規模盛土は届出制から許可制になり基準が強化され、立地選定に影響するが、選定条件及び今後の企業誘致方針について伺います。
2 ふるさと納税制度の活用と寄付額の増加政策について	三島市の令和3年度実績は県内26位、約2億円でした。令和4年度の見通し額と、沼津市等との取組の差は何か、今後の事業展開、取組の手法について伺います。
3 幹線道路網の整備と税収効果を上げる開発用地の創出について	西間門新谷線については、土地開発公社を活用した先行買収、交付金を活用した道路工事を行い、竣工予定を早めることはできないか伺います。また大場地区、玉沢地区に、地元調整も含め新谷・梅名・平田地区を加え、3地区への企業誘致で財源確保を図ることが、5年後10年後の市の政策・財政運営にとって最優先に取り組むべき課題と考えますが、市の方針を併せて伺います。
質問事項 2	三島駅南口の都市再開発事業と南北自由通路の整備について
具体的内容	三島駅南口の再開発と周辺整備は、市の都市の顔、活性化の拠点であり、市民の期待が高い事業。再開発ビルを中心に周辺整備による都市機能の集積と南北自由通路の整備促進を。
1 三島駅南口整備にあたり、世界的な資材価格の高騰と円安が事業に影響を与え、実施設計等の見直しで事業が延伸されるが、最終完成見通し、また事業効果予測・費用便益分析の実施時期、増額予測される市の負担を際限なく認めていくのか伺います。	
2 法定再開発事業は、建設工事費と保留床処分価格等、各段階での決定プロセスの透明性、公平性が必要とされ、また個々の地権者の利害調整面では、個々の主張の妥当性が求められます。全てを組合に委ねるのではなく、補助金執行者として、市の意思決定、判断基準が大切と考えますが、市民利益をどのように担保していくのか伺います。	
3 事業用定期借地事業への導入機能・進出業者は内定しているのか伺います。また南北自由通路の実現も長年の課題、ビルの3階フロアの一角に、在来線上空を南北に繋ぐ跨線橋の南側ゲート機能を設けておくことはできないか併せて伺います。	
質問事項 3	人を幸福にする福祉社会の実現に向け、政策の充実と具体的対応について
具体的内容	地方行政の主要政策は、住民自治と福祉社会の実現、今後の取り組み方針等が重要。
1 少子化対策では、人口政策で国も市も合計特殊出生率1.8を目標とするが、市の現状は1.49、長泉町は1.8、政策内容の違いは何か。また経済面で第2子の0歳から2歳児の保育料を無償化する等今後の子育て支援、少子化対策の重点施策について、また国に呼応し、子供の生活保障と平等、人権等を守る取組を図るため「子ども審議会」を発足、協議する考えはないか併せて伺います。	
2 高齢化対策では、在宅の要介護者を支える家族介護、訪問・通所介護事業所や介護施設の経営継続、医療看護介護連携と地域包括支援センターの充実、介護人材と質の確保等多くの課題を抱えています。2025年問題に向けた市の高齢者対策の優先課題、また介護給付費の抑制に向けた健康維持等の対策、増加する認知症患者に対する見守り連携の強化方針について伺います。	
3 生活困窮者・貧困家庭対策等格差拡大社会に対し、市民生活の安定に向けた取組が必要。一人親・一人暮らし高齢者・生活保護受給者への生活・経済支援策の充実と実態調査、何より子どもの未来に繋がる貧困の連鎖を断ち切る生活困窮者対策について市の方針を伺います。	

一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 13 番 中村 仁

質問事項 1	保育園・幼稚園・小中学校に通う子ども達の安全・安心について
具体的内容	<p>裾野市、沼津市において「園児虐待」や「不適切保育」などのワードが飛び交うニュースが続いた。大阪狭山市では、市議会副議長が小学4年生の女儿にわいせつな行為をして、逮捕されたニュースがあった。教員による児童・生徒へのわいせつな行為は枚挙にいとまがない。</p> <p>これらのような、信頼するべき大人たちによる事件・被害は、子どもが自力で回避することは困難であるとする。このような事態・問題に対するこれまでの三島市の取り組みと、このようなニュースに接し、新たに改善した点・変えようとしていく方向性などについて伺う。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1 保育園について2 幼稚園について3 小学校について4 中学校について
質問事項 2	三島市役所を支える職員の現状と課題について
具体的内容	<p>三島市には正規職員、会計年度任用職員を合わせ、とても多くの職員の皆様が働いている。その規模、職場における諸問題など、現状と課題、目指すべきと考える方向性について伺う。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1 三島市の職員数について2 人口と職員数のバランスについて3 職場として捉える三島市役所内のパワハラ・セクハラ等も含めた現状での課題・問題点について4 実際の対応などについて5 今後、職員の皆様の健全な職場として目指すべき姿とそのための方法について
質問事項 3	これから生まれてくる子ども達のために考える、将来の三島市に活かせる施策
具体的内容	<p>30年程前、日本の大学は世界ランクのトップに名を連ね、日本企業の技術力は世界最高と誰もが信じ、経済大国、技術大国と言われることに疑問を感じませんでした。しかし今は、技術も、学力も、所得さえも、世界の中の高水準にあったはずのものが、とても低いレベルにあると言われます。しかし負債の額だけは、残念ながら素晴らしいほど高い水準で頭抜けています。</p> <p>私を含め、この40年程の間、仕事の最前線で活躍していた世代が、次世代に対して負うべき責任と贖罪は、大変重いと感じます。更に、物価高や増税、エネルギー問題など、課題が上積みされ続けている状況において、これから生まれてくる子ども達が希望を感じてもらえる社会にするために、知恵を絞り、汗をかき、また血を流してでも何とか答えを探して進んでいくことこそ、今、政治・行政に関わっている全ての人々が避けてはいけない使命だと信じています。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1 「次世紀の三島市を生きる、これからの三島市民」のために市長が考える三島市の方針とは何か。

一般質問発言通告書

発言順位	7番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 2月 14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

質問事項 1	認知症等高齢者のQOL向上対策について
具体的内容	
<p>2025年には高齢者の5人に1人(約700万人)が認知症になるとされ、認知症があってもなくても高齢者が自分らしく暮らせるまちづくりに市をあげて取り組むことが必要ではないかと考える。周りの人がどう接するかで認知症のある人の状態は大きく変わると言われており、周りの不安や管理しなければという意識から悪循環を起しやすくする。認知症の症状よりも自信の喪失や諦め続けたことが生活の質を落としているのではないかと考えるが、絶望的なイメージをなくし、できることをやり自分らしく暮らし続けるためにどうすべきか以下に伺う。</p>	
1 三島市認知症フレンドリー宣言を表明すべきではないか。	
2 これからさらに増える相談の窓口の地域包括支援センター相談員拡充が求められるのではないか。	
3 MCI軽度認知障害検査、APOE遺伝子検査の検査費用への半額助成について	
4 キャッシュレス決済ポイントバックキャンペーンを高齢者が使用しやすくするための取り組みについて	
5 高齢者バス等利用助成額の増額と利用方法の選択肢を増やす方策について	
6 高齢者宅等の防犯対策について	
質問事項 2	子育て支援について
具体的内容	
<p>コロナ禍で少子化が一段と深刻になり、この少子化の進行は労働供給の減少や経済成長率の低下、社会保障負担増など社会経済に大きな影響を及ぼす。そこで、子どもを産み育てやすい環境の整備をさらに考えていかなければならないが、国では0~2歳児の保育料の軽減等を打ち出しているが具体的にはみえていない。また小中学生の不登校生について前年度からの増加割合が特に大きく24.9%と過去最大になっている。そこで三島市での対策を以下に伺う。</p>	
1 0~2歳児の保育料の負担軽減について	
2 在宅育児手当の導入について	
3 保育園おむつ定額サービスの導入について	
4 スクールカウンセラーの各小中学校への配置及びスクールソーシャルワーカーの各中学校区への配置について	
4 不登校生へのオンライン授業について	
5 不登校支援室で柔軟なカリキュラムは作れるか。	
6 中学生の不登校生は夜間中学に行くという選択肢を与えられないか。	

一般質問発言通告書

発言順位 8番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 14 番 野村 諒子

質問事項1	健やかな子どもの成長を育む環境の充実
具体的内容	<p>女性の社会進出を促す政策により、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わっています。待機児童が問題視されることにより、託児保育の場の充実が図られ、小規模保育所の拡充や公設学童保育の場である放課後児童クラブも拡充が図られてきました。</p> <p>日中子育てに関わる家族がいない家庭に対し、子育てに関わる環境を整えることで、社会全体で子育てしていこうという取り組みがなされています。環境の充実は図られていますが、保護者にしっかり寄り添い適切に助言できる場や機会がどれだけ充実してきたか、気になるところです。時間的な余裕を持たない保護者が、子育てに悩んでいても相談もできずに一人で抱えているようなケースが、潜在的に多くあるのではないかと思います。</p> <p>保護者が子どもとのふれあいの仕方や、年齢による成長の変化を知り適切な言葉かけによる見守りを学ぶ場など、保護者としての学びの場の充実を図ることが必要ではないかと考えます。そこで、保護者の子育ての学びの場の拡充への取り組みについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 保護者からの子育て悩み相談の現状はどうか（受け入れ場所、内容、件数の変化など）2 保護者による自主的な取り組みの現状はどうか、変化はあるか。（PTA活動など）3 保護者が研修を受ける場の拡充や相互支援できる場の拡充ができないか。
質問事項2	文化芸術活動を推進するための人材育成の充実
具体的内容	<p>これまで、市では生涯学習の充実を図り、文化芸術活動を推進してきました。子どもたちに好評なクリエイティブ推進事業や市内の公民館などでも絵画や音楽などの活動が活発に行われてきています。</p> <p>その一方で、高齢化による会員の減少などで継続が難しいサークルの話題も出ています。先ごろおこなわれた「三島せせらぎ音楽祭」では、大変質の高い音楽を楽しむことができ、参加者には大変好評でした。</p> <p>音楽や絵画などの芸術に触れ合うことで、心が豊かな生活を送ることができ、市民生活の質の向上を図ることができます。</p> <p>このような芸術に触れる事業を求めるニーズがあるものの、その事業を運営するには多くの労力と知識と経験を必要とします。</p> <p>そこで、このような発表の機会を運営するための人材の育成を行うための研修の機会と組織化を図ることを支援できないか伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 三島市の文化、芸術活動に対する基本的な考えと今後の取り組みについて2 三島市美術展を市の主催事業とする理由について3 祭りや公民館活動における現状と課題について4 事業運営を担う、学生や市民ボランティアサークルの育成はできないか。

一般質問発言通告書

発言順位	9番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 22番 佐藤 寛文

質問事項1	ゴミ減量と処理計画について
具体的内容	
本市におけるゴミ排出量は減少傾向にあるが、上昇しないリサイクル率や新規の最終処分場や焼却施設など、課題は山積みである。現在の状況と今後の計画について以下伺う。	
1 令和4年度のゴミ排出量の現状とリサイクル率の変化について	
2 新年度におけるゴミ減量への取り組みについて	
3 今後のリサイクル率向上に向けた取り組みについて	
4 最終処分場の現在の状況と、新規の最終処分場の進捗状況について	
5 次なる焼却施設の計画について	
質問事項2	財政運営について
具体的内容	
長引くコロナ禍によりここ数年は大変厳しい財政運営となっている。経済は回復基調にあるがまだまだ先行きは不透明である。現在の状況と新年度予算及び今後について以下伺う。	
1 令和4年度の税収見込みについて、令和3年度との比較及び当初予算との差異を伺う。	
2 新年度予算における要求額と最終予算額の乖離についての詳細と、最終的にどのように均衡を図ったのか伺う。	
3 補助金ガイドラインにより実行された事業評価の結果と補助件数、予算額の変化について	
4 新年度予算を踏まえた上で、今後の市債の推移を伺う。	
質問事項3	「誰も置き去りにしない」まちの実現に向けて
具体的内容	
SDGsの理念でもある「誰も置き去りにしない」まちの実現に向けて本市においても様々な目標が掲げられているが、目標達成に向けた新年度の取り組みを伺う。	
1 生活困窮者支援の現状を踏まえた新年度における格差是正対策について	
2 自殺ゼロのまちを目指した自殺予防対策の現状と拡充について	
3 多様性を認め合うまちに向けLGBTQの皆さんへの更なる理解と支援について	